

【安田明子(Vn)&飛松利子(Pf) デュオコンサート】

日時: 2008年 1 月 27 日 (日) 13:30~14:30
会場: 東京富士美術館 ロビー

出演: 安田明子(ヴァイオリン) 飛松利子(ピアノ) 中山朋子(お話)

内容: ソロ活動はもとより、チェロ奏者安田謙一郎と共に日本を代表する室内楽団「安田弦楽四重奏団」第1ヴァイオリン奏者として活躍の安田明子と、イタリア・パルマドーロ国際コンクール最高位入賞しヨーロッパ各地で活動の実力派ピアニスト飛松利子によるコンサート。中山朋子による親しみやすいお話を交え、名曲の数々をわかりやすく皆様にお届けします。

曲目: モーツァルト／ソナタ ホ短調、ドヴォルザーク・クライスラー／我が母の教え給いし歌、クライスラー／愛の哀しみ、中国の太鼓、ラフマニノフ／ヴォカリーズ、ラヴェル／ツィガーヌ



安田明子(ヴァイオリン) やすだ●あきこ

桐朋女子高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業、同学部研究科修了。在学中、第48回日本音楽コンクール第2位入賞、民音室内楽コンクール第1位、及び齋藤秀雄賞受賞。タングルウッド、霧島国際音楽祭等に参加し、各種の賞を受ける。1981年ヨアヒム国際音楽コンクール入賞。1982年イノホールにてリサイタル、以来、浜離宮朝日ホール、サントリーホール、みなとみらいホール、フィリアホール等で、ソロ及びデュオのリサイタルを開催。1983年より安田謙一郎とヴァイオリンとチェロのための二重奏曲諸作品の連続演奏を行う。1987年より安田弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者。ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、バルトークの全弦楽四重奏曲を含むシリーズ等を行う。一方で現代音楽の分野でも積極的に活動を行う。これまでにヴァイオリンを村山信吉、江藤俊哉の両氏に師事。桐朋学園子供のための音楽教室広島教室ヴァイオリン科主任。



飛松利子(ピアノ) とびまつ●としこ

桐朋学園大学、ウィーン国立音楽大学卒業。NHK-FM、神奈川県立音楽堂推薦音楽会、同音楽堂新人音楽会、軽井沢星野音楽祭、逗子市政50周年記念演奏会等に出演。1989年第16回パルマドーロ国際コンクール(イタリア・フィナーレリグレ)ヴァイオリン&ピアノ・デュオ部門第2位(1位なし)と課題曲最優秀賞受賞。1990年第8回クロード・カーン国際ピアノコンクール(パリ)第4位。同年第17回パルマドーロ国際コンクールピアノ部門1位なしの第2位と課題曲最優秀賞受賞。フィナーレリグレでヴァイオリンとピアノデュオ・リサイタル、ウィーンでピアノ・リサイタルのほか、ドイツ、フランス、オーストリア各地で演奏。帰国後の2004年、JCPジャパン・チェムバー・フィルハーモニーとモーツァルトのピアノ協奏曲を共演し絶賛された。ビデオ《ピアノとともに》、CD“夜の青空”黒木瞳(詩&朗読)のピアノ独奏。CD“よくばりアレンジで弾くピアノスコア/スタジオジブリ作品集・上田浩司編曲”。軽井沢サマーミュージックスクールピアニスト、鎌倉市民混声合唱団ピアニストとして演奏する他、ソロ及びアンサンブル・ピアニストとして活躍している。ソナーレ・アートオフィス協力アーティスト。これまで舘美佐子、三浦みどり、M. ヴォスクレセンスキー、R. ケラー、M. フッシ、M. プリンツの各氏に師事。



中山 朋子(お話・ヴァイオリニスト) なかやま●ともこ

桐朋学園一期生、斎藤秀雄・鷺見三郎・ジャンヌ・ヌイスナールに師事。東京交響楽団にて、コンサートマスターを長年務めた。1971年(昭和46年)には第26回国連音楽大使を務める。韓国・ウラジオストク・ハンガリー等、世界各国と文化交流を推進する一方、ユニセフ・チャリティーコンサート等、多角的な音楽活動を展開。著書に「楽しいバイオリン教室・鷺見三郎のバイオリンのおけいこ」(音楽之友社)

